

令和5年度渡嘉敷島平和学習



令和5年6月23日(金)から6月25日(日)に、2泊3日で渡嘉敷島にて平和学習を行いました。今回は留学生10名、日本人チューター3名、引率者3名の計16名が参加しました。国立沖縄青少年交流の家に宿泊をし、主なスケジュールとして1日目に平和学習、2日目に海洋研修を行いました。

平和学習～講師による講話・フィールドワーク～

6月23日(金)に当宿泊施設内のセミナールームにて、講師による平和学習が行われました。今回は、渡嘉敷島に生まれ育ち、現在は平和ガイドとして活動されている米田英明さんに講話をしていただきました。

戦時中の渡嘉敷島での住民たちの様子や渡嘉敷島で行われた集団自決について、米田さんの母親の証言をもとにお話していただきました。講話後は、当施設敷地内にある、集団自決跡地を見学しました。まず初めに全員で黙とうをささげ、その後に実際に集団自決が行われた場所へと行きました。

今回の平和学習を通し、学生一人ひとりが改めて平和、命の大切さについて考えることができました。



左写真:米田さんによる講話

左下:実際に集団自決が行われた場所へ

右下:集団自決跡地にて



左写真:スタッフによるオリエンテーション



シュノーケル体験

2人乗りカヤック体験



海洋研修

6月24日(土)に渡嘉久ビーチにて海洋研修を行いました。海洋研修ではまずスタッフによるオリエンテーションが行われました。ライフジャケットの着用方法からシュノーケルマスクの使い方等の説明を受けました。午前中は主にシュノーケルをしました。シュノーケルをするのが初めての留学生もいるなか、学生同士でバディを組み、サポートし合いながら行いました。

午後は、カヤック体験をしました。2人乗りのカヤックではそれぞれのペアがお互いチームワークを発揮しました。

当日は天気にも恵まれ、学生たちは思う存分渡嘉敷の海を満喫し、思い出に残る一日となりました。

学生の感想

渡嘉敷島に初めて行って、豊かな自然を楽しみつつ、とても勉強になった。渡嘉敷島の悲しい歴史や平和の重要性をととても感じて、平和な世界になってほしいという気持ちがいっぱいになった。

情報通信システム工学科4年 エッサイ セリーム

平和学習で、私は沖縄の歴史についてさらに学ぶことができました。今のような平和な世界に過ごしているのはとてもありがたいです。また、海洋研修の時とても楽しかった。初めてきれいな海を見ると感動しました。また来年は今年と似ている活動があることを楽しみにしています。

生物資源工学科3年 フォン ミン チュン

渡嘉敷島で二泊三日いる間に何か新しいことを試してみました。朝活の運動とほかの人と楽しい活動をするのは面白くて、楽しかったです。ご飯もおいしかったです。体育館でスポーツもできるし、夜に美しい星はいっぱい見えました。部屋はきれいで、とてもよかったです。渡嘉敷島で起こった重要な出来事教えていただいて、ありがとうございます。悲しかったり、びっくりしたりしましたが、その話から色々なことを考えられます。新しい言葉も勉強しました。渡嘉敷島の海に行ったとき、機器の使用方法を学んだので、安全に楽しんでいました。海もとてもきれいで、魚ははっきり見えました。それは私にとってとても良い経験でした。機会があったら、また行きたいです。

生物資源工学科2年 ウィトゥーンサクン ナタモン

今回の平和学習旅行で、平和についての学習だけでなく、海のアクティビティや合宿も体験できたので、楽しかったです。シュノーケリングはまだ怖いですが、先生たちが教えてくれたおかげで、シーカヤックができるようになりました。

情報通信システム工学科3年 ティンザー アウー

渡嘉敷島で起こった集団自決について現地で話を聞くことができ、大きな学びとなりました。

情報通信システム工学科5年 上原 彩來

小中学生の頃と比べ平和学習をする機会が減ってきている。今回久しぶりに沖縄戦の話を聞いた。平和に対する関心が薄れないよう平和について考える機会は大切にしていきたい。

生物資源工学科3年 田村 日拈

